

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3910410772
法人名	医療法人 浦松会
事業所名	グループホーム ワルツ
訪問調査日	平成21年1月29日
評価確定日	平成21年3月23日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3910410772		
法人名	医療法人 浦松会		
事業所名	グループホーム ワルツ		
所在地 (電話番号)	南国市立田1168-1 (電話)088-863-8311		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年1月29日	評価確定日	平成21年3月23日

## 【情報提供票より】(平成20年12月1日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成16年4月5日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤11(内兼務2)人、非常勤6人、常勤換算14.0人	

## (2)建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="radio"/> (単独)	<input checked="" type="radio"/> 新築 / 改築
建物構造	鉄骨造	
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000~35,000 円	その他の経費(月額)	12,500 円	
敷金	<input checked="" type="radio"/> (有) (家賃2カ月分) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,000 円			

## (4)利用者の概要(1月29日現在)

利用者の人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	7 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 84.4 歳	最低	69 歳	最高	97 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関	南国厚生病院 高島歯科医院
--------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯に立つモダンな建物で、近隣には母体病院がある。「年老いても夫婦仲良くワルツを踊る」という思いを込めて名付けられた事業所は、明るく広々としたホールや居室を有し、家族が自由に面会に訪れ、利用者の個別の要望にも優しく対応している。理念に掲げている「人としての権利と尊厳を尊重する」ことを、職員が大切にして利用者へ接していることが伝わってくる事業所である。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な改善課題である「災害対策」については、地域住民参加による防災訓練にまでは至っていないが、地域の消防団に事業所の見回りをしてもらうなど改善に向けて取り組んでいる。非常用食料等の備蓄についても、災害時救護対応機能の付いた自動販売機を設置し、エンシュア(栄養剤)の缶詰も備蓄している。ただ、改善されていない項目も残っており、更なる取り組みを期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、全職員で意見を出し合って検討し、まとめている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	事業所から事業計画や事業報告などを行い、メンバーからも意見や要望が出され、双方向的な会議となっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会は年3回事業所の行事に合わせて開催している。事業所から報告をした後、家族同士の話し合いの場も設け、意見や苦情を出しやすい仕組み作りを努めている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会には加入していないが、地域の神社のお祭りや公民館行事に参加し、近くの保育園や小学校・高校との交流も積極的に行い、買い物には地域の商店(野菜、肉・魚他)を利用するなど、地域との繋がりを大切にしている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。  「豊かな人間関係を保ち支えあう」「共同生活の楽しさの実感」「健やかな暮らしと安心のケア体制」など、5項目の独自の理念を掲げ、前述の3項目が地域密着型サービスを含む内容であり実際に地域活動も実施しているとのことであるが、職員や家族等が見て地域密着型サービスとしての役割が端的に判る表現にはなっていない。	○	理念は事業所が目指すサービスのあり方を端的に示したものであり、実質的に地域との積極的な交流を進めている事業所であるので、職員や家族等が見ただけで地域密着型サービスとしての役割が判る内容にすることを期待したい。
2	2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。  採用時、毎日の申し送り時、月1回の職員会などの際に、理念について意識づけを行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉がけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。  それぞれの希望に沿って散歩に行ったり、ゆっくりと時間を過ごしたりするなど、本人がしたいことや思いを尊重した支援に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。  神社の夏祭りや公民館行事に参加し、実質的に地域との交流を積極的に行っているの。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。  地域の神社のお祭り、地域の一斉清掃、公民館行事などに参加し、近くの保育園や小学校・高校との交流も積極的に行い、買い物には地域の商店(野菜、肉・魚他)を利用するなど、地域との繋がりを大切にしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。</p> <p>自己評価については、全職員で意見を出し合って検討し、まとめている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。</p> <p>評価で見出された課題については職員会で検討し改善に向けて取り組んでいるが改善計画は作成していない。</p>	○	<p>評価で明らかになった課題については、外部評価確定後できるだけ早い時期に改善計画を策定し、それに基づき改善に向けて取り組むことが望まれる。</p>
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況などについて報告や話し合いを行い、そこで出された意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>事業所から事業計画や事業報告などを行い、メンバーからも意見や要望が出され、双方向的な会議となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>運営推進会議では報告していない。</p>	○	<p>評価で明らかになった課題について、より効果的に改善して行くためにも、運営推進会議に報告し、参加メンバーからの意見を取り入れ、モニター役にもなってもらうなど、サービスの質の向上に向けて取り組むことを期待したい。</p>
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>事業所の業務内容等疑問がある場合は市の窓口へ相談に出向き、事業所の行事へも誘い、積極的に交流を図るようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族来訪時には、利用者の体調や事業所での生活の様子について話をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>年1回のワルツ便りで事業所での暮らしぶりやエピソード等を伝えている。また、月1回請求書を送る時に、担当職員の手紙と写真を同封している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>事業所が立て替え払いをして、後日領収書と引き替えに精算している。出納帳にも記載し、家族来訪時に確認印をもらっている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>家族会は行事に合わせて年3回開催し、事業所から報告をした後、家族同士の話し合いの場を設けている。玄関には意見箱も置き、意見を出しやすい仕組みを作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。</p> <p>苦情については職員会で話し合い具体的な対応を行うとともに、再発防止に向けても討議して記録として残し、サービスの質の向上に努めている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>今年初めて新人を採用するため交替があったが、基本的には馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。ユニット間でも行き来があり、顔見知りの関係が出来ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>職員が交代する場合は、1カ月程度の引き継ぎ期間をとり、スムーズに移行出来るように配慮している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>事業所負担で年4～5回、パートを含め全職員が研修を受けることが出来る体制を整えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。研修後は職員会で報告をしている。</p> <p>研修結果は報告書を作成し提出するとともに、職員会でも報告している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>県宅老所グループホーム連絡協議会に加入している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>市内のグループホームとの交流があり、ボランティアを招き勉強会を開催するなど、サービスと職員の質の向上に努めている。</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>職員が出向き入居希望者の状況を聴取し、日常生活動作等状況表を作成している。また、本人の意向についても、直接あるいは家族から確認するようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人や家族に事業所に来てもらい、おやつと一緒に食べるなどの体験をもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者とケアマネージャー又は主任が複数で面接を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>調理の準備や盛りつけ、配膳、食事後の片付け、洗濯たたみ等、自然と分担が決まり、協働しながら和やかに生活をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>帰宅願望の強い人や家族との面会後に元気がなくなる人などには職員がマンツーマンで寄り添い、ゆっくり話を聞き、それぞれの思いを理解し、共感できるように努めている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>利用者の生活歴や暮らし方の希望等を把握した上で、絵を描く、散歩に行く、モーニングに行く等、意向に沿えるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>意思疎通が困難な利用者には頻繁に話しかけ、その表情の変化等に注意したり、家族からの情報や希望を聞き、意向を把握するようにしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人や家族の意見や要望を直接又は電話で聞き、介護計画に反映させている。また、利用者と家族同席のもと、介護計画書に同意のサインをもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>職員会やカンファレンスで話し合い、意見交換を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3カ月ごとに見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>入院していた利用者が退院した場合に状況に応じたプランを作成するなど、利用者の変化に応じた期間設定を行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>近隣の母体の医療法人と連携し、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>家族が同行出来ない場合は職員が対応し、自宅を見に行きたい希望があれば自宅まで出かけるなど、柔軟に支援している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>今までのかかりつけ医の受診は基本的に家族が対応し、困難な場合は職員が支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>受診結果は互いに報告するとともに、検査記録と一緒に個別記録として保管している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族、医師、看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>重度化した場合の指針を定め、関係者で話し合い、該当する状況になった場合は意向の確認を行うようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>本人や家族の気持ちを大切にし、安心して過ごせるよう、医師等と連携して取り組むようにしている。</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。</p> <p>トイレへの誘導時にはそっと声をかけ、人に聞かれない話は利用者の部屋で話をするなど、本人を傷つけないように配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>採用時にプライバシーに関する契約書を交わし、職員会でも徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>母体法人の個人情報保護法の研修に参加し、毎日のミーティングでも話し合い、理解を深めている。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>散歩に行きたい人、モーニングに行きたい人など、それぞれの意向に沿えるように努めている。また、絵や詩吟など、趣味に対する支援を職員全員で取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>食事時間の遅い利用者には時間をずらすなど、利用者のペースを大切にし、個別に対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  料理の下ごしらえ、盛りつけ、配膳、下膳等、利用者が出来ることは一緒に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。  食事介助が必要な利用者には介助しながら、職員は同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。  少なくとも週2回は入浴出来るようにしており、利用者が希望すれば随時対応できるように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  現在入浴を拒む利用者はいない。拒む場合は時間や人を変えるなど工夫して支援するようにしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  生活歴、趣味、得意分野等を把握しており、ホールに飾る絵を描いてもらったり、季節の花を活けてもらったり、利用者の能力を発揮できる場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  絵を描いたり、花を活けたり、食事の手伝いを頼んだりして、楽しみや役割を作り出す働きかけを積極的に行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 馴染みの喫茶店や美容院に出かけたり、雑貨店で買い物を楽しんだりしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 車椅子使用者も日常的に散歩やドライブに積極的に出かけている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 地域の商店街での買い物のほか、季節の花に合わせて空港公園までドライブし、散歩や花見を楽しんでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の週間や傾向を把握して、対応している。 利用者が外出しそうな時は見守りながらさりげなく付いて行き、自由な暮らしが出来るよう支援している。  <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、超えかけや連絡をしてもらえる関係築いている。 年1回のワルツ便りを近隣の商店街や郵便局、駐在所、住民にも配布し、地域の理解と連絡してもらえる関係は築いている。		
27	71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 地域が行う避難訓練には職員が参加しているが、事業所が行う避難訓練に地域住民の参加は得られていない。  <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 避難経路の確保、消火器等の点検は行っており、非常用食料についても、災害時救援対応機能の付いた自動販売機を設置して飲料水を確保し、エンシュア(栄養剤)の備蓄で緊急時を凌げるようにしている。	○	災害時には職員だけの誘導等には限界があることを考え、地域住民の協力を得て避難訓練を実施することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 チェック表で把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 母体病院の管理栄養士にチェックしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 広々としたホールにゆったりくつろげるソファを配置し、車椅子も自由に通れるスペースを確保するなど、利用者の使いやすさに配慮した共用空間となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 壁には利用者が描いた絵を飾り、過度な飾り付けにならないように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 中庭にパンジーを植え、ホールのテーブルの上には季節の花を活け、季節感に配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 使い慣れた家具を持ち込み、絵が好きな利用者の居室には絵の道具などを揃え、それぞれ工夫して居室づくりを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。		